

2年目 小中一貫教育 ● 連載 No.14 ●

全国モデルの

『多久市の小中一貫教育』研究



■問い合わせ 教育委員会 学校教育課 ☎75-22227



▶中央校5・7年生「いのちの授業」

一貫校での研究テーマ

『市内全域同時開校（施設一体型・施設併設型）小中一貫校における教育委員会と学校との連携を活かした学校運営・教育実践に関する調査研究』

テーマを踏まえた研究の実例

1. 小中教員によるチーム授業

中期段階（5・6・7年生）において、社会、理科、音楽、外国語活動等の授業で、指導効果を高めるため小中教員がチームを組んで授業実践に取り組んでいます。

2. 異学年合同行事

小中合同の入学式や体育大会、6年生と8年生による命の授業、5年生と9年生の給食会食、1～4年生の学習発表会、5～9年生の文化発表会など発達段階を考慮し、縦の学年関係を重視した学校行事を工夫しています。
このように異学年との交流活動により、児童生徒は互いのよさを学んでいます。

3. 多久市版小中一貫教育カリキュラム

「前期・中期・後期の3段階」「基礎基本の定着」「9か年を見通した指導」「教科の課題」「家庭学習につながる教科指導」「教科担任制を生かす指導」の6つの視点によるカリキュラムの実践・見直しを行っています。

4. 役割分担や組織力を活かす教員の配置

職員室は、小中学校の教員が前期・中期・後期のグループに分かれて座席配置され、小中の教員の協働制を生かした教育実践を展開するために専門部組織や役割分担、各種担当の割り振り方を工夫しています。

入学おめでとう！

第2回 中央校入学式



4月10日、各小中一貫校で小中合同入学式を行い、1年生155人、7年生177人が学校生活をスタートさせました。中央校では、1年生82人、7年生99人が手をつないで入場し、在校生や保護者に拍手で迎えられました。（右写真）

式典では太田春美校長が、「新1年生のみなさんは、運動会や遠足など、中学生のお兄さんお姉さんと一緒に参加します。中学生のみなさんは下級生の憧れとなる素晴らしい

5. 地域人材・素材・伝統を活かした学習活動

地域と学校との連携を取るため、地域の奉納相撲に児童が参加するなど体験活動を設定しています。
また、老人会や各種活動の名人を学校に招き、児童生徒に直接の指導・支援をお願いしています。地域の力で児童生徒を育てるため、学校と保護者と地域が連携を取って授業づくりを展開しています。



▶多久町老人クラブの授業参観（西深校）

このように、小中一貫教育が持つ特性を活かした授業の工夫や、学校、保護者、そして地域が一体となって児童生徒の成長を見守り、育む教育展開に取り組んでいます。

「また在校生を代表して、生徒会長の榎原健太郎さんが、「中央校での生活を大切にそして楽しみながら過ごしてください。私たち在校生もみなさんと過ごす生活を楽しみにしています」と歓迎の言葉を述べました。」



▲新入学生代表への教科書、入学祝品の贈呈



▶初めての教室で担任の話聞く児童

借金問題

過払い請求

広告

- サラ金からの借金を完済された方、時効前（10年）であれば、過払い請求が可能です。
- 過払いの請求の場合、着手金不要（解決後、報酬金のみ）裁判までします。（印紙代等の実費は負担）

借金の相談は無料で随時受け付けます。民事・刑事の身の回りの問題もご相談ください。

営業時間 平日 9:00～18:00 土曜 9:00～12:00 日曜・祝日休

高崎繁行法律事務所

弁護士 高崎繁行（佐賀県弁護士会所属）
唐津市千代田町2109-17 くりはらビル1F

TEL 0955-70-0315



5月の定例教育委員会のお知らせ

日時 5月9日（金） 13時30分～

場所 市役所 第2委員会室（自由に傍聴できます）

■問い合わせ 教育委員会 教育総務課 ☎75-3450